

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

				No.	29-002		
PDCA	事務事業名	図書館資料整備事業	部課等名	教育部 図書館	担当 内線等		
					野不雄 会 23-7171		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 1. 生涯学習 単位施策： (4) 図書館の利用促進 個別施策： ②誰でも図書館を利用できる環境整備					
	根拠法令等	図書館法、半田市立図書館条例					
	対象・目的	図書館資料の利用を促進するため、資料の整備にあたっては、利用者のニーズや社会動向を把握する中で、司書が内容を確認し、充実を図っていく。					
	目的を達成するための手段・活動内容	図書館資料（書籍、視聴覚資料等）を司書が内容を確認したうえで購入する。窓口では貸出、返却の業務の他、本の相談（レファレンス）を積極的に行う。図書館だよりやホームページ、SNSなどで新着図書の情報発信を増やし、インターネット予約の活用も進めていく。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	30年度	元年度	2年度	単位	
		①資料購入実績	18,288	18,066	21,235	点	
		②蔵書点数	473,381	472,147	463,785	点	
		③貸出点数	1,018,227	901,938	717,735	点	
		④予約（リクエスト）件数	57,418	54,480	55,737	件	
		内、インターネット予約件数	38,300	37,474	36,152	件	
		事業費	31,434	31,447	31,786	千円	
		人件費	83,069	88,163	88,550	千円	
		総事業費	114,503	119,610	120,336	千円	
		活動単位当たりのコスト	30年度	元年度	2年度	単位	
	①市民一人当たりの資料購入費	243	243	246	円		
	成 果	成果指標	30年度	元年度	2年度	単位	
		①市民一人当たりの貸出点数	実績値	8.5	7.6	6.0	点
		目標値	9.0	8.9	8.5		
		実績値					
		目標値					
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	D					
		コロナ対策の臨時休館などにより貸出点数が減少したが、臨時休館中においても、予約資料の貸出等を行う臨時窓口の設置を実施したため、予約（リクエスト）件数が増加した。小学校への調べ学習お届け便等の学校等連携支援事業の充実を図るため、内容の古くなった閉架書庫の児童書を多く除籍し、新旧の良書を積極的に購入した。コロナ禍のもと来館を促すのが難しい中、いかにして貸出点数を増やしていくかが課題。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 利用者のニーズに合った図書資料を整備するとともに、郷土資料の収集にも努め、地域情報の集約場所としての機能を維持していく。障がいのある方、高齢者、外国籍の市民等にも配慮し、広い視野から読書の機会を拡充することができるよう、他課とも連携しながら利用促進を図っていく。					
	令和3年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①市民一人当たりの貸出点数	8.5	点			